**平成29年度　大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会**

**議事まとめ**

日　時：平成30年3月15日 10時～12時

会　場：役場3階　大会議室

参加者：別紙のとおり

～ 次 第 ～

１．副町長挨拶

２．委員紹介

３．会長・副会長選出

　　　【会　長】 田村 馨

【副会長】 光安　幸蔵

４．議題

「大刀洗“よかマチ”創生プロジェクト」

町の人口動態について概要、プロジェクト全体の指標等を説明

させていただきました。

また、計画の進捗状況と今後の取り組みについて

　5つの基本目標ごとに説明し、各委員からご意見をいただきました。

以下、主なご意見を抜粋して記録しております。

**■ 基本目標①　「ひと」の流れをつくる**

委　員

定住移住については、人口も大きく減少していないので、一定の評価はできる。しかし、もっと人口を増やすためには、若い方が引越しされた時に、住宅取得に限定して、ふるさと納税の寄付収入を活用し、奨励金などを出してみてはどうか？

久留米市は奨励金をだしているらしい。本町には奨励金はないのか？

事務局

近隣の自治体では、そういった取組みもありますが、大刀洗町は、奨励金は出していません。

委　員

分かりやすいパンフレットも作っているようだが、どのような活用をして

いるのか？

事務局

東京アンテナショップ、福岡都市圏の移住センター、近隣の不動産業者に

協力いただき配架させていただいています。

委　員

　アンテナショップの設置に伴う効果や現在の状況は？

事務局

　来場者数は、約500人/日 です。商品をたくさん置きたいのですが、

店舗面積が狭いこともあり、商品の数が伸び悩んでいます。

少しずつではありますが、お酒や絣商品を中心に、町産品のＰＲには繋がっています。

委　員

ふるさと納税がかなり増えたと聞いているが、その要因は？

事務局

町内の業者と連携し、現在127品の出品があります。内容詳細は公表していませんので深くは話せませんが、要因は、出品事業者の決め細やかな対応と、担当者のＰＲによるものだと考えています。

委　員

　地方創生は、人口減少に対応することはもちろんだが、町の財政も維持していくことが大切だと思うので、ふるさと納税制度をうまく活用して欲しい。

事務局

　今後もＰＲを強化し、寄付が増加するように努力していきたいと考えています。

委　員

　上高橋スカイラークの入居募集が開始されているが、入居の見込みは？

　また、入居がどれぐらいあれば維持していけるのか？

事務局

　事業の損益としては、90％以上の入居率を維持していければよい計算になっています。

委　員

　大刀洗の工場に勤めている社員もいるが、町内に住んでいる人はなかなかいない。大刀洗町には誘致企業会などもあるので、そこと連携して移住施策を進めていくのもよいと思う。例えばパンフレットを配布するとか。

委　員

　域外へのＰＲも大切だが、域内でのＰＲもしっかりとやっていけるとよい。

事務局

　町内の団体等と連携して圏域内へのＰＲを強化するとともに、工場等の企業への働きかけも検討していきたいです。

委　員

　移住ＰＲ動画の作成については、自前で作成したほうが響くものになると思うし改善もしやすい。また、グーグルの広告も地域を限定できるので効果的だ。

**■ 基本目標②　結婚・子育ての応援**

委　員

大川市の出生率が高いということを聞くが、なぜそうなったのか要因を把握

しているのか？なにかヒントになるのでは？

事務局

　正確な要因の把握まではできていませんが、大川市は圏域でも一番保育料を低く設定しています。そういったことも理由にあるのかもしれません。

　本町も、かなり保育料を引き下げています。その結果、入所を希望する児童が増え、施設整備が追いつかない状況になり、待機児童が発生してしまっています。待機児童の解消ができていないこともありますので、急に保育料を引き下げることもできない状態です。

委　員

　産後ケア事業に関して、利用される人数は延人数が示されているのか？

　事業を開始したことによって、支援が必要だった方が減少しているなど具体的な把握はできているのか？

事務局

　人数については、延人数をお示ししています。

　支援が必要だった方に対する、悩み等の解消につながった件数までは把握できていない状況です。

委　員

　この事業は、単純に利用者が増加すればよいというものでもないと思う。

　申請制度を廃止するなど、改善の部分は評価できるが本当に支援が必要な方が利用できるような仕組みをつくらないといけないと思う。ＫＰＩの設定として、もっと事業の本来の目的を図れるようなものも設定してはいかがか？

事務局

　事業を担当する健康福祉課と協議して、より具体的に効果を把握できるようなＫＰＩを設定できるように検討します。

委　員

　制度があるにも関わらず、利用していない方も多い、その利用していない方が「なぜ利用しなかったのか」そういったこともしっかり分析していけると具体的な改善につながると思う。エピソード分析をした方がよい。

委　員

　であい創生プロジェクトはどれぐらい費用がかかっているのか？

　会場はどこでやっているの？参加希望者は多いのか？

事務局

　セミナーと交流会を含めて約70万円の費用がかかっています。

　会場は、ドリームセンターを使用しています。

広域で実施する場合は、募集人数に対して応募人数の方が多い状況になっているため、抽選となり大刀洗町民が応募しても参加できないというお話をよくきいていました。今年度初めて単独で実施し、町内者を優先にと考えておりましたが、町内者だけでは募集人数に達しなかったので、町外者にも参加いただいたという状況です。

委　員

　学びの部分で言うと、町内の学校から年に1回工場見学という形で学習していただいている。今後も、工場などを学びの場として積極的に活用してもらえたらいいと思う。

**■ 基本目標③　「しごと」の応援**

委　員

　新規就農の研修実績がないが、どのような周知の方法をとっているのか？

　外部のＨＰなどでも周知されているのか？

事務局

　現在は、関係団体が集まる会議等で制度の周知を進めていますが、外部のＨＰに掲載してなどのＰＲはしていません。

委　員

　国の補助金「青年就農給付金事業」もあるので、町の補助を活用する人は少ない。

委　員

　ＰＲも大切だが、研修受け入れ先が限定的になっているのであれば、受け入れ側の幅もある程度持たせたほうがいいと思う。

委　員

　太宰府に福岡県立農業高校などもある。農業的なものに興味をもっている人はいる。なぜ、制度に手を挙げる人がいないのか？そこもしっかりと分析した方がよい。

事務局

　国勢調査をみても農業従事者数（後継者）は減っています。効果的なＰＲの手法について、担当する産業課と検討していきます。

**■ 基本目標④　「まち」をつくる**

委　員

　公共空間活性化事業について、対象者を応援大使に拡充すると聞いている。

現在、応援大使が名刺を配って終わりになっているので、もっと応援大使を活用して欲しい。

　また、もっと制度の内容が一目で分かるようにしていただけると使う人も増えると思う。

事務局

　応援大使については、例えば、枝豆収穫祭等の町のイベントで応援大使同士が交流できる機会を創出するなど、次年度以降もっと大使活動が活性化するような取組みを検討中です。

　制度のＰＲについては、現在チラシを作成中です。完成したら配布しＰＲしていきたいと考えております。

委　員

　校区巡回バスのイメージは？運転手さんは誰なのか？

また、どこを走っているのか？

事務局

　大刀洗校区内を、週3回、地域のボランティア運転手が運転して巡回しています。利用料は無料です。

　車両は、役場のハイエースを貸し出していますが、公共交通空白地域（大刀洗校区）のまちづくり委員会が自主的に運営しています。

委　員

　バスの運営は利用者との関係も大切なので、利用者がなぜ利用する（しない）のか、利用者の分析も進めていくとよい。

**■ 基本目標⑤　魅力の発信**

委　員

　よかマチ創生プロジェクトの中では「地域おこし協力隊」については、特に触れられていないが、町の「地域おこし協力隊」はどのような活動をしているのですか？

事務局

　現在、2名の「地域おこし協力隊」を配置しております。

　1人目の業務は「情報発信」です。

主に、町歩きなどを通して発見した町の魅力を町内外へ発信してもらうことを業務としており、フェイスブックや「ＦＬＡＴ」サイトの更新や外からの目線でみた町の行事やスポットを掲載したフリーペーパーの発行などをしています。

　2人目の業務は「物販販売促進」です。

　主に、さくら市場の運営や野菜の通信販売業務の支援などを行っています。外とのコネクションも活用しながら、町産品のＰＲも積極的に行っています。

事務局

　平成29年度は、庁舎横断的な情報発信に特化したワーキンググループも設置しております。次年度以降も、全庁あげて町の魅力や実施していく施策や制度の周知を徹底していきたいと考えております。

**■ その他**

委　員

　総じて、町の人口推移をみると大きな減少もなく、一定の評価はできると思う。策定から関わってきたのでこのプロジェクトには関心もあるし、今後も、継続して施策を進めていって欲しい。

委　員

　今後のスケジュールは？

この審議会は継続していくのか？やるとすれば次期はいつごろか？

事務局

　本日の審議会でいただいたご意見を基に、事務局が関係各課と協議し、よかマチ創生プロジェクトを改訂させていただきます。

年度毎に、進捗状況を報告し様々なご意見をいただきながら、地方創生を進めていきたいと考えておりますので、審議会は年に1回開催させていただきたいです。

　次期としましては、事務局の希望としましては事業効果や数値的な部分を把握し、委員の皆様へご報告させていただきたいので、年度末（2月～3月）に開催させていただきたいと考えております。

＜決定事項＞

　・本審議会は、年に1回開催する。

※ 平成31年度が、プロジェクトの最終年度です。

　・開催時期は、年度末とする。